

平成22年度 一般会計予算

一般財源となります。

●平成21年度一般会計補正 予算

問 (篠崎久美子) 地域活性化経済対策臨時交付金、地域活性化公共投資臨時交付金、地域活性化きめ細やかな臨時交付金の目的、使途について制約がありますか。

答 (太田総務課長) 内容は当然制約があります。経済活性化に配慮した事業、公共事業等追加に伴う地方負担の軽減を図り、地域における公共投資を円滑に実施することができるようにということでなされた事業、地元の中小企業に配慮した事業を設定し、その都度計画を国に上げ、許可を得て行います。バリアフリー化については、庁舎玄関の入口まで車イスでこられるような形でスロープを造りたいと考えています。

問 (渡辺俊夫) 融雪剤に関する性を図るということ、一般競争入札にできるだけ持ち

込むことが大事だと思いますが。

答 (副村長) 比較的、金額も小さいということから、村内企業の育成ということを観点においた指名競争入札が適当であろうと考えています。

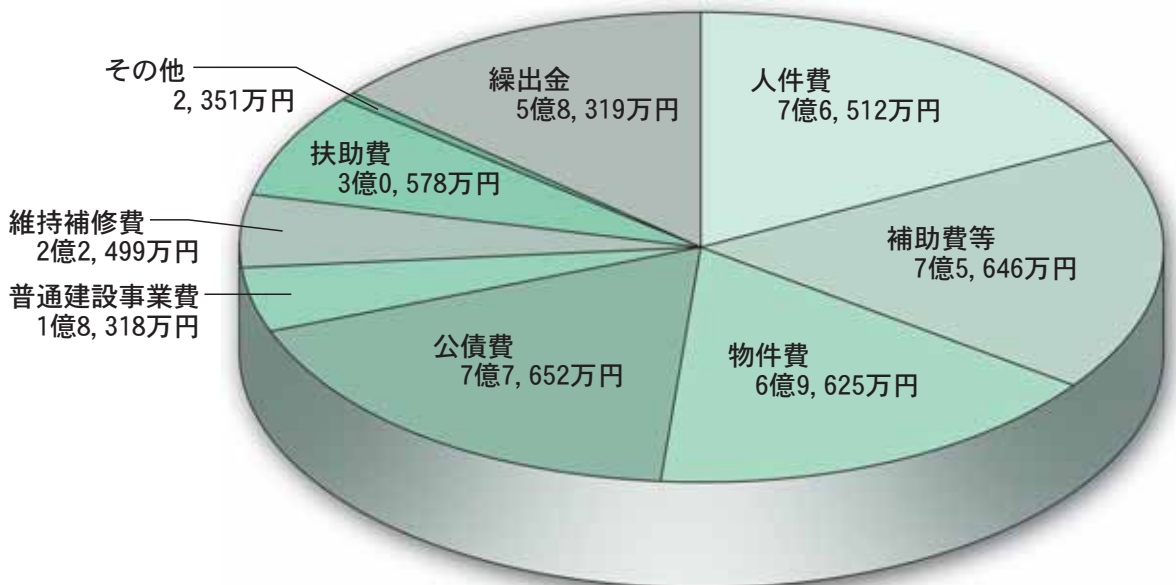
問 (篠崎久美子) 人件費の給与カットについて、一定の成果が見られたという記載がありますが、一定の成果とは。

答 (太田総務課長) 起債残高も減り、今年度は財政調整基金の繰り入れを止めたという状況になっていることです。

問 (太田修) 村民税と固定資産税の滞納繰越分の減額になった理由は。

答 (西澤税務課長補佐) 村民税は景気が低迷する中、個人の所得が伸びない状況であり、1700万円ほどの減額を予算計上しています。また、法人の村民税は、均等割と所得割があり、4法人ほど増え、59万5千円ほど

一般会計 性質別歳出予算 歳出総額 43億1500万円



(千円単位四捨五入)